

こよみすと®養成コース4 暦と旅実践編



2021年度版

今日学べることは？

1) 人の運氣（その人に合った旅の提案）

無理がない・満足度が高い・開運活動としての充実感

2) 時の運氣（最適なタイミング）

吉方位鑑定のタイミング・月齢・季節の暦・行事など

3) 場の運氣（目的地の決め方）

4) 現地での過ごし方

付録 企画書のまとめ方（動画学習）

学習の目的



ひとりひとりにあった吉方位取りの提案ができるようになる。



旅の安全に対して十分な配慮ができるようになる。



開運活動の提案を魅力的に行えるようになる。



全体的に満足度の高い旅を演出できるようになる。



調査や企画のスキルを磨く。



1) 人の運氣（その人に合った旅の提案）

自分のためでも、
お客様のためでも、
下記の条件が満たされていることが必要。

- a 無理がない
- b 満足度が高い
- c 開運活動としての満足感がある



a 無理がない

距離 x 日数 x 心理効果

安全、体力、予算等に配慮すること

(距離) 散歩 国内短距離 国内長距離 海外

(日数) 数時間 日帰り 3泊4日以上

(心理効果) 損をした 普通 よかった！

b 満足度が高い（楽しさ、充実感等）

楽しかった、充実していた、開運できそう

五感を満たすと満足感が上がる。

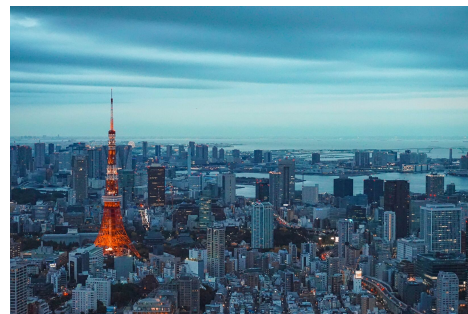
視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚

開運活動としては「第六感」の満足も必要

視覚の満足

- ・ 景色（絶景・夜景等）を楽しむ
- ・ 衣裳などの美しさ
- ・ 人物の様子
- ・ 料理や菓子の見た目

思わず写真に撮影したくなるもの



聴覚の満足

- ・ 音楽
- ・ 自然の音
(波の音・風・滝・雷等)
- ・ 鳥や動物の鳴き声
- ・ 会話など人の話し声



触覚の満足

- ・ 乗り物の乗り心地
- ・ 寝具や衣服など肌に触れるもの
- ・ マッサージ
- ・ 温泉や海、川など水に触れる
- ・ 裸足で大地に触れる
- ・ 動物に触れる
- ・ 陶芸や料理などの手仕事



味覚の満足

- ・ 料理の味わい
- ・ 菓子
- ・ 飲み物など
日本酒・ワイン・焼酎



嗅覚の満足

- ・ 花の香り
- ・ 料理の香り
- ・ お香やアロマ
- ・ 自然の香り（森林、海など）



第六感

目に見えない何かを感じる場所
雰囲気や空気感

- ・ 神々しい
- ・ 神聖
- ・ 不思議
- ・ 怪しい



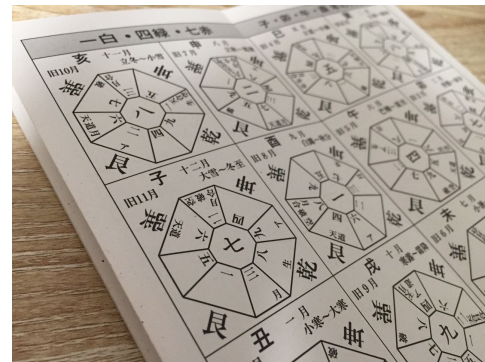
開運活動としての充実感

望んでいたとおりの開運活動ができる

- ・ 吉方位旅行の手配が万全にできた
- ・ 望ましい過ごし方ができた
- ・ 願う開運を実感することができる
(その場から未来にかけて)

2) 時の運氣（最適なタイミング）

- a 吉方位鑑定によるタイミング
- b 月齢
- c 季節の暦
- d さまざまな吉日
- e 行事など



a 吉方位鑑定によるタイミング

吉方位で移動ができるタイミングは、
限定性があり、希少なので、
出来るだけ吉方位取りを行えるとよい。

お水取りは年・月・日・時盤が揃い、
吉方位があるタイミングでなければ行えない。

b 月齢

旧暦は月齢に基づくもの。

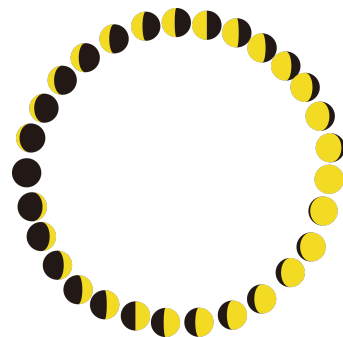
旧暦に基づいて行われる神事などは魅力がある。

満月にちなむ神事もある。

例)

鞍馬寺 ウエサク祭

出雲大社 神在月



c 季節の暦

二十四節気や七十二候に基づき、
旬の植物や味覚を求めることができる。
また、季節の行事も興味深い。

例)

節分の豆まき

春分や秋分のお彼岸の行事

七十二候からわかること

【旬】 旅の大きな魅力になる

植物（開花期、新緑、紅葉、収穫の時期 等）

食べ物（野菜、果物、魚等）

動物（渡り鳥など）

行事（仏事、神事、地域の祭等）

>サブテキスト（七十二候一覧）



d さまざまな吉日

- ・ 一粒万倍日
- ・ 寅の日
- ・ 巳の日（特に己巳の日は好まれる）
- ・ 天赦日
- ・ 大安
- ・ 庚申の日 など

一粒万倍日

選日のひとつ。

一粒の粃（もみ）が万倍にも実る稲穂になるという意味。何事を始めるにも良い日。

ただし借金などをするとそれが増える。

他の吉日と重なれば、一粒万倍日のご利益は倍増し、凶日と重なれば半減する。

寅の日



旅と金運の吉日

虎は走る力が飛び抜けていることから、一瞬で『千里を行って千里を帰る』とされる。旅の安全祈願と結びつき、旅立ちの吉日となった。

また、被毛の色から金運を連想させるため、寅の日に買った財布は、使ったお金がすぐに戻ると言われている。

巳の日



金運の吉日。

弁財天の遣いである白蛇に願い事をすれば叶うと言われる。金運・財運に縁起のいい吉日。

また、60日に一度巡ってくる己巳（つちのとみ）の日は、巳の日のなかでもさらに縁起のいい弁天様の縁日。己の土のエネルギーが金を育てる。

天赦日

「天がすべての罪を許す」とされる日。

全ての罪が許されることから、万事に良いとされている。特に物事をスタートする、また謝罪や仲直りに適した日とされる。

大安

六曜という暦の読み方の一つ。万事に吉とする日。

先勝（せんしょう） 用事を早く済ませるべき日。

友引（ともびき） 良くも悪くもない日 葬式を避ける俗信がある。

先負（せんぷ/せんぷ/せんまけ） 急用は避けるべき日。

仏滅（ぶつめつ） 大凶日。全てによくない日。

大安（たいあん） 万事進んで行うのに良い日

赤口（しゃっこう/しゃっく） 午の刻を除いて凶日とされる日。

庚申の日

庚申（かのえさる）

十干の庚は陽の金、十二支の申は陽の金で、比和の関係。金の気が天地に充満して、人の心が冷酷になりやすいとされる。

三猿と結びつくなどして、全国に庚申信仰がある。三匹の猿が虫に姿を変えて神に人の悪事を告げに行くので、この日は寝ないなど。

e 行事など

時期や地域によって様々な行事が催される。
仏事や神事も年間を通じて行われ、
季節の暦などとも関わりが深い。

節句（桃・端午・重陽）

縁日（ほおづき市など）

>サブテキスト（副教材・七十二候一覧）



3) 場の運氣（目的地の決め方）

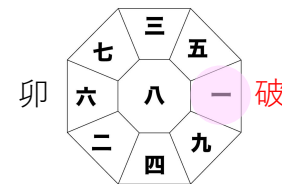
- a 吉方位 > サブテキスト（吉方現象一覧）
- b 開運活動を実感しやすい場所
- c ダークスポットを避ける

a 吉方位

吉方位鑑定によって導き出した吉方位。

縁起の良い場所は多数あるので、
まずはエリアを吉方位で限定し、
お客様が希望する距離内で探すと提案しやすい。

西（七赤金星） x 一白水星



（吉方位）

情愛、創造性、財運、子宝などに関わり・・・。

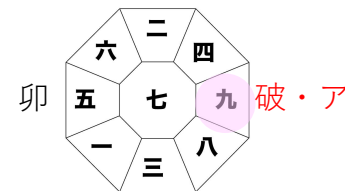
- ・ 深刻にならず楽しむことができる。
- ・ 決断や思い切りが早くなり、よい結果が出る。
- ・ 金銭に極めて恵まれる。
- ・ 社交的になる。人間関係がうまくまとまる。
- ・ 人の心を動かす話術に長ける。
- ・ 冷静な判断ができる。
- ・ 異性との関係に恵まれる。
- ・ 飲食に恵まれ、接待など飲食の場が増える。

（凶方位）

情愛、創造性、財運、子宝などに関わり・・・。

- ・ 怠けるようになり、遊んでしまう。
- ・ 今までのツケでよくない結果が出る。
- ・ 散財が始まり、金銭を失う。
- ・ よくない人と関わり始め、怠けるようになる。
- ・ 舌禍が度々起きる。
- ・ 冷酷になり、人を口車に乗せてしまう。
- ・ 異性トラブルが起きる。刃傷沙汰に注意。

西（七赤金星） x 九紫火星



（吉方位）

常に暗剣殺となり吉方位になり得ない。

（凶方位）

名誉、頭脳、神性、独立などに関わり・・・。
他者によって運気が低迷する。

- ・怠けるようになり、金銭を失う。
- ・勘や直感が外れて、よくない結果が出る。
- ・勘や直感が外れて、金銭を失う。
- ・よくない人と関わり始め、人脈が下層化する。
- ・舌禍が起き、望まない暴露につながる。
- ・冷酷になり、人からの反発を買う。
- ・口約束などから、異性トラブルが起きる。

b 開運活動を実感しやすい場所

- ・ 自然信仰の対象
- ・ 神社仏閣など
- ・ 縁起のよい逸話の舞台



自然信仰の対象

豊かな自然が神聖視されているところ

天空・大地・山・海・太陽・月・星・雷・雨
風・樹木・森林・動物・水・火・岩石 等

九星の象意とあった場所を選ぶとなお良い。

例) 三碧木星の吉方位取り：朝日を拝む

神社仏閣など

その神社仏閣の由来や歴史を調べ、
吉方位旅行の趣旨とあった場所を選ぶ。

例)

合格祈願：湯島天神

縁結び：出雲大社

縁起のよい逸話の舞台

- ・ 神話や民話があるところ
- ・ 歴史上の人の活躍があったところ
- ・ 発展の歴史を持つ土地

c ダークスポットを避ける

なんらかの危険がある
戦場跡など、悲劇の舞台となっている
心霊スポットなど

※旅程を作成する場合は歴史や由来を調べると良い。

吉方位とパワースポット

【吉方位】

これまで学習したとおり、ひとりひとり異なる、その人にとって運気が上がる方位です。その目的地にどのような観光地や宿があるかは、方位とはまた別の話です。

【パワースポット】

パワースポットは、もともとは自然信仰が寄せられる、大自然の良いエネルギーが満ちているところを指します。そうした場所には神社仏閣などが建つことも多くなりますが、「建物=パワースポット」ではありません。パワースポットは、良い気に満ちているところではありますが、吉方位・凶方位という考え方とはまた別のものになります。

凶方位とダークスポット

【凶方位】

これまで学習したとおり、ひとりひとり異なる、その人にとって運気が下がる方位です。パワースポットでも、縁起の良い場所でも、凶方位となる場合があります。

【ダークスポット】

なんらかの危険がある。戦場跡など、悲劇の舞台となっている。

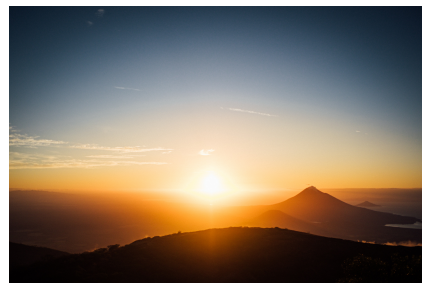
心霊スポットと言われているなど、よくない心象のある場所を意味します。

自分の基準をかんがえてみよう

- a) 吉方位とパワースポットが重なっている場所。
- b) 吉方位ではあるが、パワースポットや縁起のよい場所ではない普通の場所。
- c) 吉方位ではあるが、ダークスポット。
- d) パワースポットや縁起のよい場所ではあるが、吉方位でも凶方位でもない
- e) 吉方位でも凶方位でもないが、パワースポットや縁起のよい場所ではない普通の場所。
- f) 吉方位でも凶方位でもない、ダークスポット。（剋気）
- g) 凶方位ではあるが、パワースポットや縁起のよい場所。
- h) 凶方位で、パワースポットや縁起のよい場所ではない普通の場所。
- i) 凶方位で、ダークスポット。

4) 現地での過ごし方

- a 目的に合った過ごし方
- b その土地のエネルギーをいただく
- c 象意の発見
- d 吉方位土産について



a 目的に合った過ごし方

「吉方位旅行である」という目的を意識し、その土地のエネルギーをいただく過ごし方を提案。

開運したい事項に合わせて、その目的に合った目的地や行動を決めるとよい。

b その土地のエネルギーをいただく

- ・ その土地で採れたものを食べる。
 - ・ 海、川で泳ぐ、温泉に入るなど土地の水に入る。
 - ・ その土地の自然湧水をいただく。
 - ・ 温泉や砂風呂など地熱に触れる。
 - ・ 神事や仏事に参加する。
- (その土地の守り神との接点を持つ)



c 象意の発見

九星の各象意を表すものを、
積極的に発見し、印象に残すとよい。

色・形状・天候・場所や建物・物品・人物
飲食・身体・動物・植物

>サブテキスト九星現象一覧を参照

d 吉方位土産について

（自分自身のために）

吉方位で求めたものはお守りがわりになる。
写真を待ち受けにするのもよい。

（人にあげる場合）

吉方位で求めたものは、
誰にとってもよいエネルギーを運ぶ。



【付録】 企画書にまとめる

- 1) 望む開運の方向性を確認する。
- 2) 吉方位の鑑定を正確に行う
- 3) 魅力的な旅程を企画する。
 - ・ タイミング
 - ・ 見所の選定（神社仏閣・景勝地など）
 - ・ 象意に多く触れる工夫（体験・飲食・土産など）
- 4) 企画書にまとめる。

【付録】 調査の仕方

- ・ 観光協会の情報発信
- ・ SNSなどでの情報収集
- ・ 書籍等

